

第5回平塚市社会教育委員会議 次第

令和7年6月4日（水）午後3時15分
平塚市美術館 ミュージアムホール
司会：社会教育課長

<第5回会議>

- 1 新規事務局職員の紹介 . . . P1
- 2 議事
 - (1) 美術館の連携事業等について
 - (2) テーマ協議 . . . P3
 - (3) 令和7年度社会教育関係団体等への補助金の交付について . . . P6
 - (4) 今後の予定について . . . P2
 - ・神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について
 - ☆総会
6月9日（月）午後 県民センター
 - ☆研修会
9月1日（月）午後 総合教育センター
 - ・第6回会議 . . . 8月5日（火）15時から 平塚市役所519会議室
 - (5) その他

令和6・7年度
平塚市社会教育委員会議

第5回定例会議

令和7年6月4日（水）
平塚市美術館 ミュージアムホール

令和7年度 平塚市社会教育委員 会議等予定表

日にち	会議名	会場	対象
5月12日(月)	県社教 理事会①	県民センター	県理事
6月4日(水) 14:45~	定例会議⑤	平塚市美術館 (ミュージアムホール)	全員
6月9日(月)	県社教 総会	県民センター	県理事
8月5日(火) 15:00~	定例会議⑥	平塚市役所(519会議室)	全員
9月1日(月)	県社教 研修会	総合教育センター	県理事および 希望者
10月24日(金) 15:00~	定例会議⑦	平塚市役所(会議室)	全員
11月20日(木) ~21日(金)	第56回関東甲信越静社会教育研究大会(神奈川大会)	関内ホールほか	全員
12月8日(月)	県社教 理事会②	総合教育センター	県理事
1月27日(火) 15:00~	定例会議⑧	平塚市役所(会議室)	全員
2月 日()	教育長及び教育委員との意見交換会	平塚市役所(教育長室)	議長、副議長
3月9日(月)	県社教 理事会③	総合教育センター	県理事

議事

(2) テーマ協議

テーマ:「社会教育施設(図書館・博物館・美術館)の連携について」

メモ ・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・❁・

令和6年度連携事業一覧【美術館】

事業名	連携対象種別	連携施設・団体	連携内容・特記事項
3館コラボレーション事業	公共施設	中央図書館・博物館	来館者が3館を回遊しながら新たな発見をしたり教養を豊かにできるよう実施した。
対話による美術鑑賞事業	学校	市内小学校 7校	市内小学校と連携し美術作品に親しむことで、鑑賞力を高めながら気軽に美術館を利用できるよう事業を実施した。
対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	その他	ボランティア(ひらびあーつま〜れ)	対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあーつま〜れ)を育成し、対話による美術鑑賞の実施に協力いただいた。
団体向け研修・体験プログラム	その他	市内外の各種団体 10団体	来館時に開催中の展示会を観覧、レクチャーを実施している。(コロナ禍以前は市内公民館事業による観覧を受け入れていたが、コロナ禍以降は実績なし。)
中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ	学校		令和6年度は希望なし
中学生職場体験の受け入れ	学校	市内中学校 5校	市内中学校の職場体験を受け入れた。
高校生インターンシップの受け入れ	その他	近隣の県立高校1校	高校生のインターンシップを受け入れた。
「中勤助展」関連事業	公共施設、その他	「中勤助を知る会」、社会教育課、中央図書館、博物館	令和6年度が中勤助が平塚に居住して100年になるのを記念し中勤助展を実施した。(令和6年度のみの事業)

社会教育施設のトリセツ（地域活用版）を考える

平塚市社会教育委員会 議長 丸島 隆雄

平塚市の社会教育委員は2年を1期とし、その期間内で研究テーマを設定し、報告・提言書という形で取りまとめ、教育委員会へ提出することになっています。令和6・7年度は、「社会教育施設の有効活用」をテーマとしました。

近年の研究テーマは、「世代を超えて、地域・学校の協働による平塚スタイル」（2018・2019年度）、「コロナ禍における社会教育のあり方」（2020・2021年度）、「子どもたちの地域参加・参画」（2022・2023年度）で、地域の活動について取り上げました。これら研究を進めていく中で、「社会教育施設をもっと有効に活用することで地域活動をより充実させることができるのではないか」というような意見があり、今期は、そののところに焦点を当てて検討してみようということになったのです。社会教育施設と言っても多岐にわたりますので、今期は図書館、博物館、美術館の3館を研究することにしました。

その際、今までは委員の活動経験や知見をもとに意見をいただいていたのですが、今回は、社会教育施設の各館からレクチャーを受け、学びながら議論を進めるという手法をとりました。そのことは、社会教育委員自身の理解を深めるという点で、たいへん有意義なものでした。

まず初めのレクチャーは、図書館です。平塚市図書館は、昭和23年に開館し、昭和45年に現在地へ移りました。その後、分館として平成3年に北図書館、平成5年に西図書館、平成8年に南図書館が開館し、以後4館体制で運営しています。現在、中央図書館（平成4年に館名変更）の窓口業務は民間へ委託され、3つの分館も指定管理者に運営を任せています。基本理念は、「誰もがいきいきと学べ、自慢できる『お役立ち図書館』」です。図書館といえば、図書の貸出・返却やレファレンス（問い合わせ対応）などの業務が中心ですが、そのほかに、お話し会や講座をはじめとする各種イベントや電子図書館など新たなサービスも展開しています。中でも出前図書館や団体貸出といったサービスなどは、地域でも活用できるものです。

次は、博物館です。平塚市博物館は、昭和51年「相模川流域の自然と文化」をテーマに開館しました。博物館というと、展示施設というイメージが強いですが、平塚市の場合は開館当初から、活動する博物館として普及活動に努めてきました。現在、博物館で活動するワーキンググループは16あって、その分野と活動は多彩です。外部団体との連携も見逃せません。これらの活動は市民に学びの場を提供しているだけでなく、活動を通じて資料が寄贈され、研究成果が蓄積されるなど博物館資源の充実にもつながっているのです。

今回の予定は、美術館です。平塚市美術館は、平成3年に開館、「湘南の美術・光」に沿った美術作品を収集しています。展示だけでなく教育普及活動にも力を入れており、レクチャーを受けるのが楽しみです。

3館いずれも、老朽化や収蔵庫不足といった課題はありますが、今期の研究では、施設面にはふれず、各館の事業と活動について検討していくことにしました。これまでのレクチャーの中で、地域からの要請があれば社会教育施設は対応する姿勢はあって、準備も整っていることが分かりました。また近年では、図書館や博物館（美術館）は、地域の多様な主体（さまざまな機関や団体など）との連携・協力によって地域活力の向上に取り組むようになっていきます。

これら3館の事業やさまざまなサービスを知ったうえで、それを地域でどのように活用していくことができるのか、今期の会議でそのトリセツ（地域活用版）のようなものが、うまくまとめ上げられればと、取り組んでいるところです。

議事

(3)令和7年度 社会教育関係団体等への補助金の交付について

令和7年度 補助金一覧(社会教育部)

[社会教育課 補助金]

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	文楽人形伝承団体補助金	220,000	220,000	0	
2	平塚市文化連盟補助金	360,000	360,000	0	
3	平塚市展委員会補助金	360,000	360,000	0	
4	市指定文化財保存管理奨励補助金(有形)	230,000	230,000	0	
5	市指定文化財保存管理奨励補助金(無形)	240,000	240,000	0	
6	歴史再発見活動団体補助金	70,000	70,000	0	
	合計	1,480,000	1,480,000	0	

[スポーツ課 補助金]

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	平塚市体育協会補助金	960,000	960,000	0	
2	平塚レクリエーション連盟補助金	69,600	69,600	0	
3	平塚市体育振興連絡協議会補助金	70,000	70,000	0	
4	スポーツ全国大会等開催補助金	550,000	550,000	0	
5	サッカー文化の振興によるまちづくり事業補助金	2,000,000	2,000,000	0	
	合計	3,649,600	3,649,600	0	

【参考】社会教育関係団体等との委託契約一覧(社会教育部)

【社会教育課 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	ひらつか民俗芸能まつり開催委託料	270,000	270,000	0	
2	平塚市地域教育力ネットワーク協議会運営委託料	1,700,000	1,700,000	0	
3	やわた子ども村放課後子ども教室運営委託料	600,000	600,000	0	
4	横内マイタウンスクール運営委託料	300,000	300,000	0	
5	港放課後子ども教室運営委託料	300,000	300,000	0	
6	金目エコミュージアム推進事業委託料	450,000	450,000	0	
7	平塚市文化祭開催委託料	1,255,000	1,255,000	0	
8	村井弦斎まつり委託料	210,000	210,000	0	
9	旧横浜ゴム平塚製造所記念館 指定管理者管理運営委託料	18,843,000	18,487,000	356,000	令和6年度から5年間のうち指定管理年度計画
	合計	23,928,000	23,572,000	356,000	

【中央公民館 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	ちゅうおうFESTA委託料	51,000	51,000	0	
2	市民体育レクリエーション開催委託料	3,997,000	3,997,000	0	
3	公民館フェスティバル開催委託料	107,000	107,000	0	
4	公民館まつり開催委託料	775,000	775,000	0	
	合計	4,930,000	4,930,000	0	

【スポーツ課 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	市民総合体育大会大会運営委託料	1,311,000	1,311,000	0	
2	市民総合体育大会選手派遣委託料	1,543,000	1,543,000	0	
3	各種スポーツ大会運営委託料 (少年野球、市内駅伝、ハラスポーツフェスタ等)	1,779,000	1,779,000	0	
4	地区体育振興委託料	2,902,000	2,902,000	0	
5	競技力強化委託料	1,748,000	1,748,000	0	
6	かながわ駅伝選手派遣委託料	152,320	152,320	0	
	合計	9,435,320	9,435,320	0	

【中央図書館 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	子ども読書活動推進事業委託料 (60,000円×14団体)	840,000	840,000	0	
2	子ども読書活動ネットワーク運営委員会委託料	50,000	50,000	0	
	合計	890,000	890,000	0	

【博物館 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	該当なし			0	
	合計	0	0	0	

【美術館 委託料】

(単位 円)

	名称	7年度当初	6年度当初	増減	主な増減理由
1	該当なし			0	
	合計	0	0	0	

令和7年度研修会（案）について

- 1 日 程：令和7年9月1日(月)（参考：令和6年度開催申込者数 106名）
- 2 時 間：13時00分～16時10分（受付：12時30分～）
- 3 会 場：神奈川県立総合教育センター 講堂 他
- 4 内 容
 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に向けた分科会発表リハーサル
 （1団体25分：質疑応答10分）
 研究主題「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」
- 5 時程

第1会場（講堂）		第2会場（3階 301研修室）	
13：00～13：10	開会・あいさつ・連絡	→ 第1会場より	
13：10～13：20	移動・発表準備	13：10～13：20	移動・発表準備
13：20～13：45	分科会1（海老名市）	13：20～14：45	分科会3（未定）
13：45～13：55	質疑応答・発表者入替え	13：45～13：55	質疑応答・発表者入替え
13：55～14：20	分科会2（藤沢市）	13：55～14：20	分科会4（茅ヶ崎市）
14：20～14：30	質疑応答	14：20～14：30	質疑応答
14：30～14：45	休憩	14：30～14：45	休憩
14：45～15：10	分科会5（真鶴町）	14：45～15：10	分科会4（川崎市）
15：10～15：20	質疑応答	15：10～15：20	質疑応答
15：20～15：30	移動・休憩	15：20～15：30	移動・休憩
15：30～16：00	全体共有	← 第1会場へ	
16：00～16：10	閉会・アンケート記入		

6 分科会及び発表市町村一覧

	分科会名	研究テーマ（案）	発表市町村
1	地域の教育力の再生と社会教育委員の役割	地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	海老名市
2	次の世代につなぐ持続可能な社会	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	藤沢市
3	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	未定
4	共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	川崎市 茅ヶ崎市
5	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	真鶴町

「社会教育で
創る 育む つなげる 共生の未来へ」

第56回 関東甲信越静
社会教育研究大会
神奈川大会

開催要項(案)

令和7年11月20日(木)・21日(金)

【研究主題】

「すべてのひとが
学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」



【会場】 関内ホール ほか

主催／共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

1 大会スローガン

「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

2 研究主題

「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」

3 趣 旨

人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港 166 年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える 2 日間としたいと思います。

4 主 催/共 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、
神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

5 後 援

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、
神奈川県地域婦人団体連絡協議会、
神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、t v k (テレビ神奈川)

6 期 日

令和 7 年 11 月 20 日 (木) ・ 21 日 (金)

7 参加者

関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
同地区の地域住民、NPO 法人、社会教育士、
学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

8 参加費

4,000 円 (参加資料代等) ※学生は 2,000 円

11 大会内容

【11月20日(木)】第1日目<全体会>

11:00～12:00 全体会受付

12:00～12:20 歓迎セレモニー 「中国獅子舞」 学校法人横濱中華學院

12:30～13:00 開会行事

・主催者あいさつ

第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長
全国社会教育委員連合会長

・来賓祝辞

・歓迎のことば

・来賓紹介

13:10～14:10 記念講演

テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる社会を目指して」(仮)
認定NPO法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

14:20～16:20 シンポジウム

テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために
社会教育ができること」

<コーディネーター>

青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授 伊藤 真木子 氏

<シンポジスト>

東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏

相模原市社会教育委員 渡邊 健一 氏

前厚木市立森の里公民館長 青木 信二 氏

16:20～16:40 閉会行事

・全員合唱 「栄光の架橋」

作詞：北川悠仁 作曲：北川悠仁

伴奏 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会
実行副委員長

・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ(群馬県)

・閉会のことば

【11月21日(金)】第2日目<分科会> 10:00~12:30 (分科会受付 9:30~10:00)

第 1 分科会		会場：関内ホール (小ホール)
テーマ	<地域の教育力の再生と社会教育委員の役割> 地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生して いかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割につ いて考える。	
助言者	聖学院大学 准教授 若原 幸範 氏	
事例発表者	内 容	
【長野県下諏訪町】 下諏訪町社会教育委員 依田 秀人 氏	星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学び ～紙芝居を作った私たちの物語～	
	社会教育委員が星ヶ塔黒曜石原産地遺跡を題材にした学びを紹介 します。紙芝居制作を通じて、地域の歴史と文化を子どもたちに伝 える取り組みを行い、その過程で得た成果と課題を発表します。	
【神奈川県海老名市】 海老名市社会教育委員会議 議長 橋本 絵美里 氏 副議長 金田 ゆかり 氏	子どもと大人が共に育つ社会の構築を目指して	
	本市では、「子どもの活動支援をとおして、子どもと子ども、子ど もと大人、大人と大人が、人と人とのつながりを広め、深め、子ど もと大人がともに育つ社会の構築」を社会教育目標に掲げ、社会教 育委員自ら行動し、社会教育計画の進捗を支えています。	

第 2 分科会		会場：横浜市開港記念会館 (講堂)
テーマ	<次の世代につなぐ持続可能な社会> 予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するた めに社会教育ができることを考える。	
助言者	青山学院大学 准教授 大木 真徳 氏	
事例発表者	内 容	
【栃木県市貝町】 市貝ジュニアリーダースクラ プ会長 永島 誠強 氏	地域の若者と大人が協力して作り上げる、次世代へ向けた新イベ ント「おかのぼ Rock Fest.」の実施について	
	高校生の「やってみよう」という思いから始動した、地域初の音 楽フェスは、開催決断にいたるまでの経緯や、準備中の困難だっ た点、イベントを経験した高校生たちの地域のこれからのかける思 いなど、詳細について説明を行います。	
【神奈川県藤沢市】 藤沢市社会教育委員会議 認定 NPO 法人藤沢市民活動 推進機構	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するた めに社会教育ができることを考える	
	藤沢市社会教育委員会が深く関わり策定された「生涯学習ふじ さわプラン2026」に位置付けられている「未来を担う人材育 成」について考える。具体的な事例として、「地域でつながるワカモ ノ×NPO インターンシッププログラム」を紹介する。	

第 5 分科会 会場：かながわ県民センター（ホール）	
テーマ	<p><地域学校協働活動></p> <p>地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。</p>
助言者	国立教育政策研究所 初等中等教育研究所 部長 藤原 文雄 氏
事例発表者	内 容
<p>【新潟県見附市】</p> <p>見附市社会教育・スポーツ推進審議会委員</p> <p>江田 隆行 氏</p>	<p>社会教育委員がつなぐCSと地域学校協働活動</p> <p style="text-align: center;">～新潟県見附市立見附中学校での取組～</p> <p>見附中学校生徒会発案の「みちゅまいも（サツマイモ）」の栽培、収穫、販売等の活動への支援を通して、商店、住宅地、農地のある学区の住民が中学校に集い交流した取組です。社会教育委員としての経験を活かし、コミュニティスクールと地域学校協働活動が一体化するよう取り組んだ様子を紹介します。</p>
	<p>△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△</p> <p>事例発表の概要</p>
<p>【神奈川県真鶴町】</p> <p>真鶴町社会教育委員</p> <p>〇〇 〇〇 氏</p> <p>NPO 法人□□□□</p> <p>□□ □□ 氏</p>	

12 開催/参加方法

(1)開催方法について

- ・全体会及び分科会は対面で行います。ライブ配信は行いません。

(2)参加方法について

- ・大会申込みサイトからお申込みください。団体でのお申込みも可能です。

13 その他

- ・今大会では、ご参加いただく皆様の乗用車でのご来場はできません。公共交通機関をご利用ください。